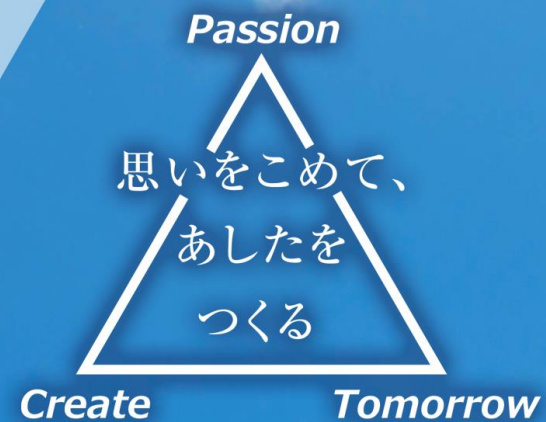


# 2025年3月期決算説明会

第101期：（2024年4月1日～2025年3月31日）

2025年5月8日



- 1. 2024年度業績**
- 2. 2025年度通期予想**
- 3. 中期経営計画「NEXUS-26」 進捗**

## 本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

# 1-1 2024年度 連結業績

4Qは生産回復し売上・営業利益が過去最高、上期の販売物量減少が響き、通期では減収減益

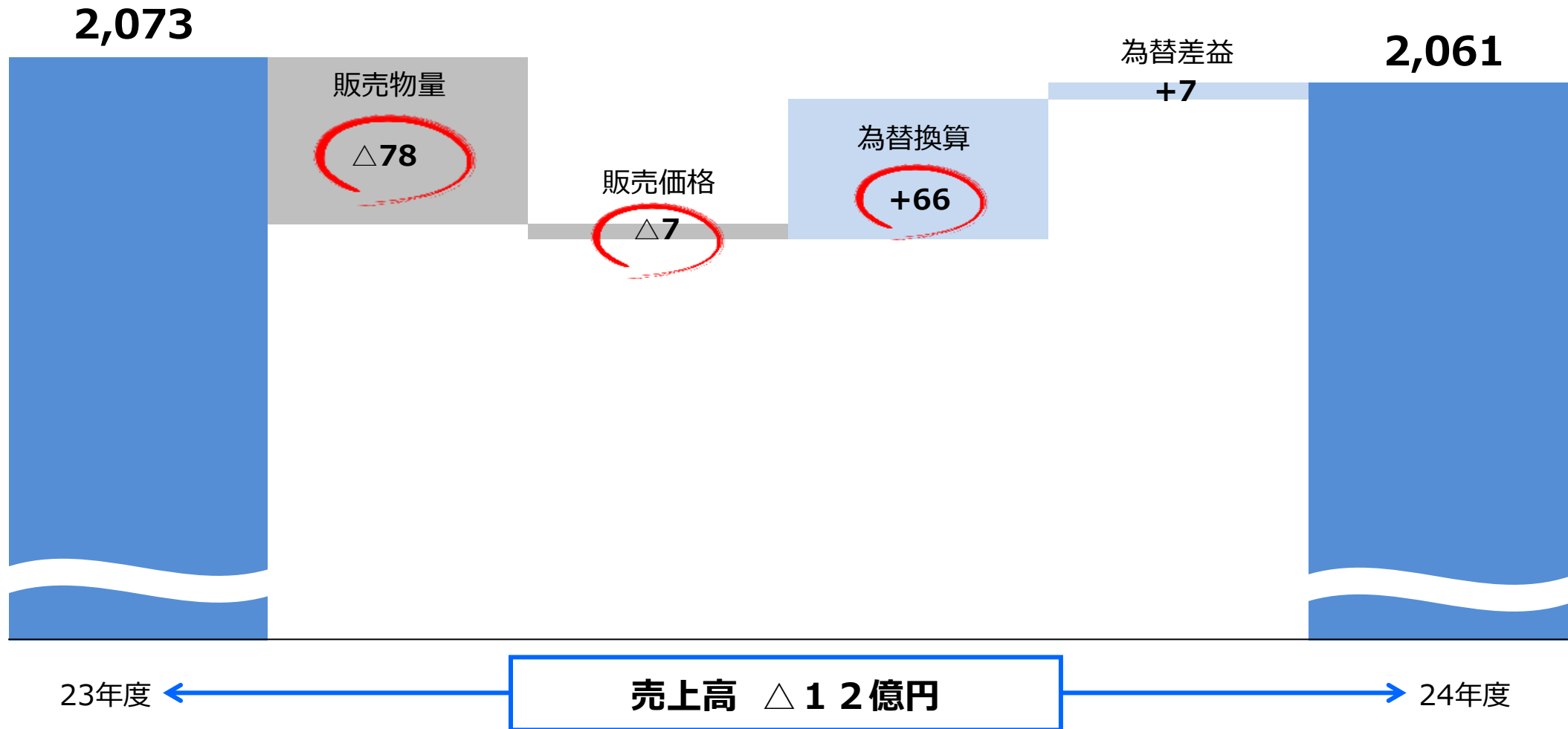
(億円、%)

	2023年度		2024年度		前期比			
	4 Q実績	通期実績	4 Q実績	通期実績	4 Q実績		通期実績	
					増減	増減率	増減	増減率
売上高	513	過去最高 2,073	過去最高 548	<b>2,061</b>	+34	+6.7	△12	△0.6
営業利益	32	過去最高 144	過去最高 46	<b>136</b>	+13	+43.1	△7	△5.4
営業利益率	6.3%	7.0%	8.4%	<b>6.6%</b>	+2.1P	-	△0.4P	-
経常利益	44	過去最高 188	42	<b>172</b>	△2	△6.1	△15	△8.3
経常利益率	8.7%	9.1%	7.7%	<b>8.4%</b>	△1.0P	-	△0.7P	-
親会社株主に帰属する当期純利益	過去最高 60	過去最高 169	30	<b>132</b>	△29	△49.2	△37	△22.1
当期純利益率	11.8%	8.2%	5.6%	<b>6.4%</b>	△6.2P	-	△1.8P	-
平均為替レート (米ドル)	147.0円	144.2円	154.2円	<b>152.5円</b>	+7.2円	-	+8.3円	-

# 1-2 連結売上高 増減要因

販売物量の減少により売上高は減少

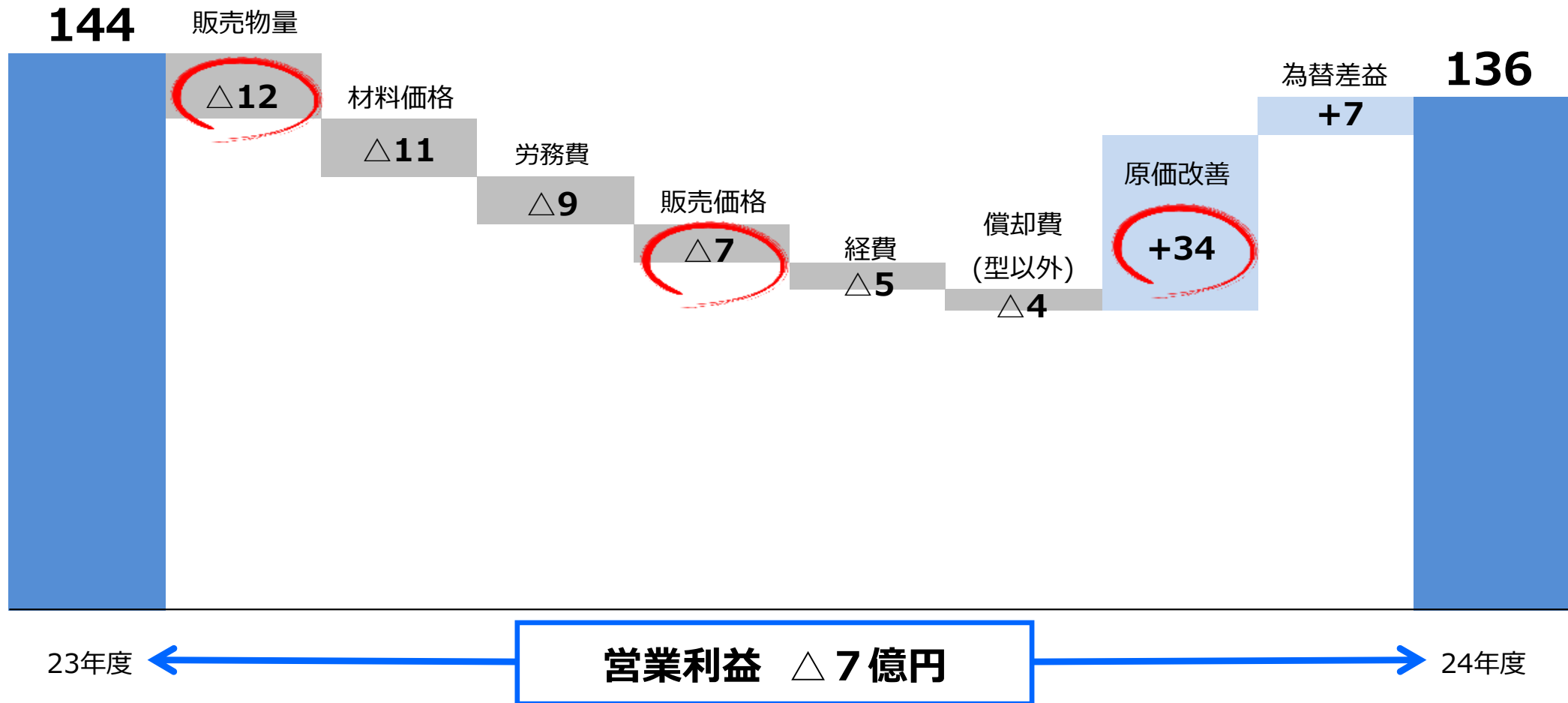
単位: 億円



# 1-3 連結営業利益 増減要因

販売物量減少、価格のマイナスとコストアップを原価改善で挽回

単位: 億円



# 1-4 連結事業別セグメント

プレス・樹脂は、物量減少による減収、物量減少・償却費増加による減益  
 バルブは、物量減少するも円安影響により売上高は前年並、償却費減少により増益

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	2023年度 実績	2024年度 実績	前期比		2023年度 実績	2024年度 実績	前期比	
			増減	増減率			増減	増減率
<b>プレス・樹脂</b>	1,499	<b>1,486</b>	△13	△0.9	103	<b>81</b>	△22	△21.4
営業利益率					6.9%	<b>5.5%</b>	△1.4P	
<b>バルブ</b>	571	<b>572</b>	+1	+0.2	41	<b>55</b>	+14	+34.6
営業利益率					7.2%	<b>9.7%</b>	+2.5P	

# 1-5 連結地域別セグメント

日本は、前年並み売上高、償却費増加により減益

欧米は、円安影響により増収、償却費減少、価格転嫁推進により増益

アジアは、物量減少により減収、物量減少・償却費減少により前期並の利益

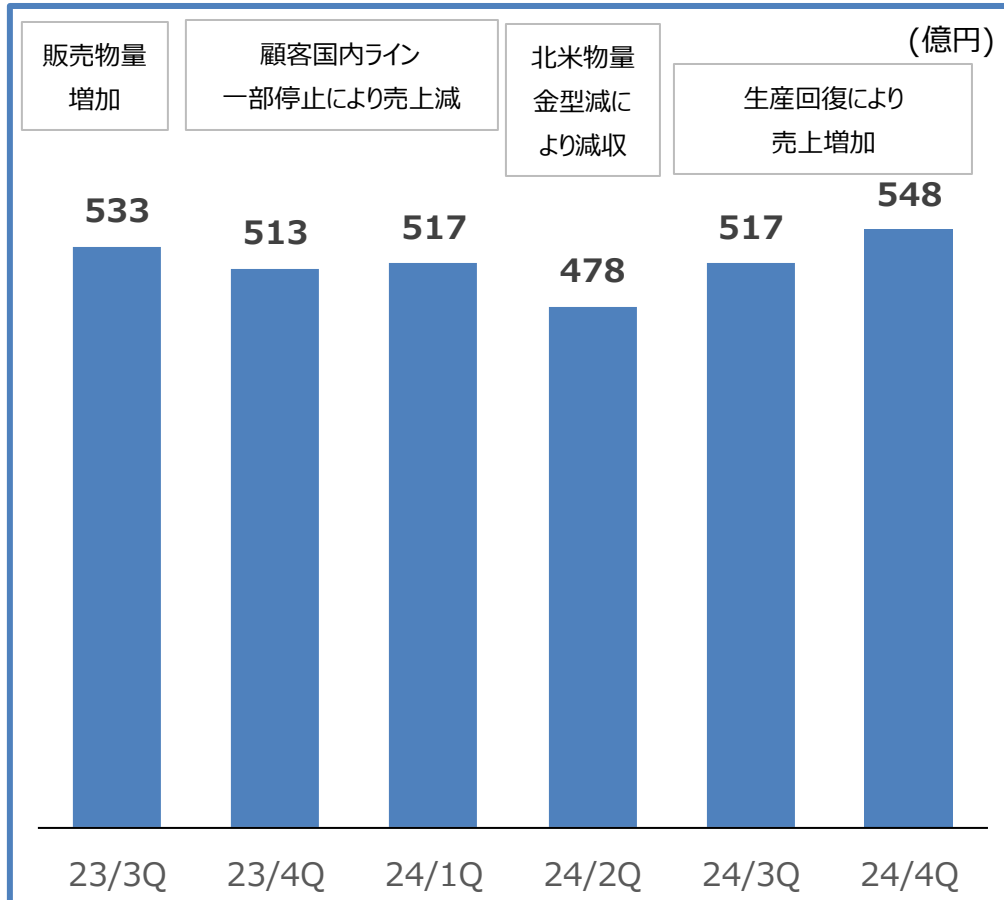
(億円、%)

	売上高				営業利益			
	2023年度 実績	2024年度 実績	前期比		2023年度 実績	2024年度 実績	前期比	
			増減	増減率			増減	増減率
<b>日本</b>	679	<b>684</b>	+4	+0.7	62	<b>54</b>	△7	△12.4
営業利益率					9.2%	<b>8.0%</b>	△1.2P	
<b>欧米</b>	969	<b>1,000</b>	+30	+3.1	43	<b>51</b>	+7	+18.2
営業利益率					4.4%	<b>5.1%</b>	+0.7P	
<b>アジア</b>	424	<b>376</b>	△47	△11.2	26	<b>26</b>	△0	△0.1
営業利益率					6.4%	<b>7.1%</b>	+0.7P	

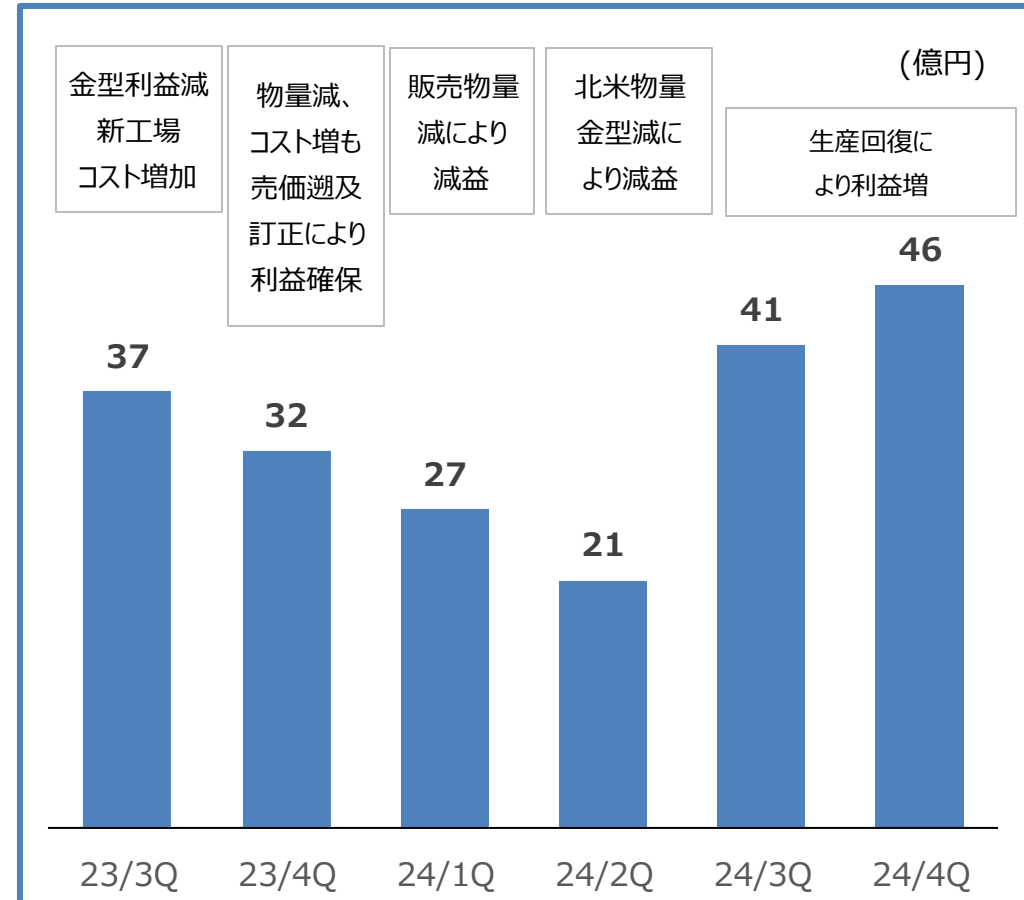
# 1-6 四半期別 連結業績推移

国内外での生産回復により24年度3Q以降、売上・利益増加

## 売上高



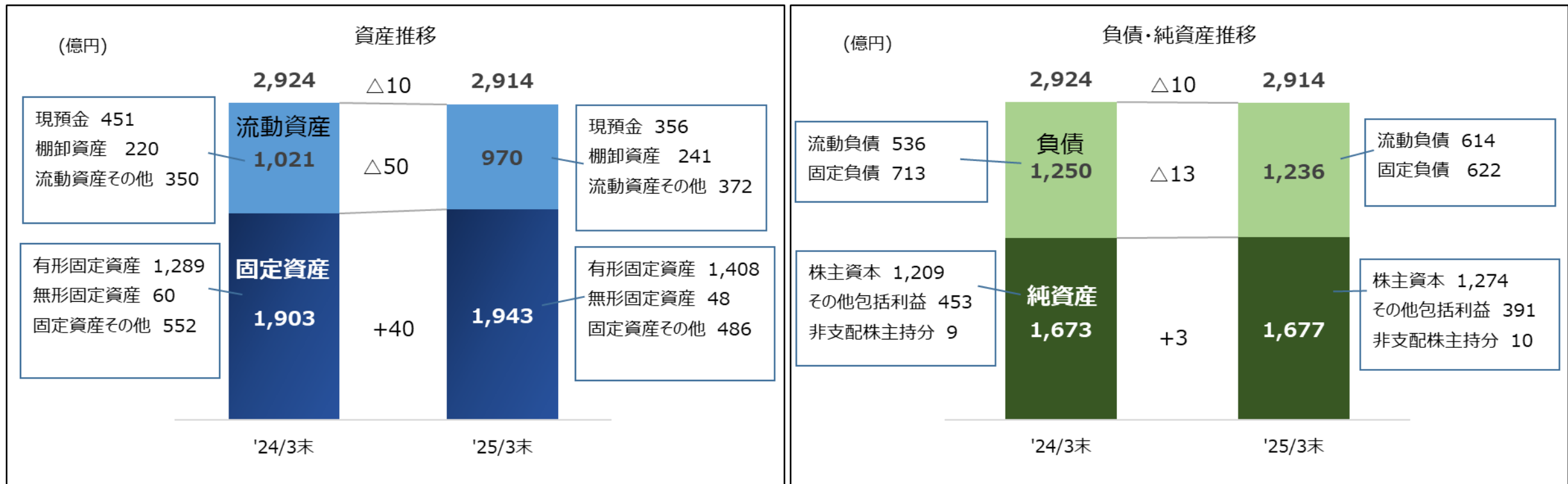
## 営業利益





# 1-7 連結貸借対照表

政策保有株式は純資産に対し20%以下を基準として、順次縮減を推進  
 3月末時点で、みなし保有株式含め17.2%まで減少



1. 2024年度業績
- 2. 2025年度通期予想**
3. 中期経営計画「NEXUS-26」 進捗

# 2-1 2025年度 連結業績予想

## 円高影響により通期で減収減益の見込み

(億円、%)

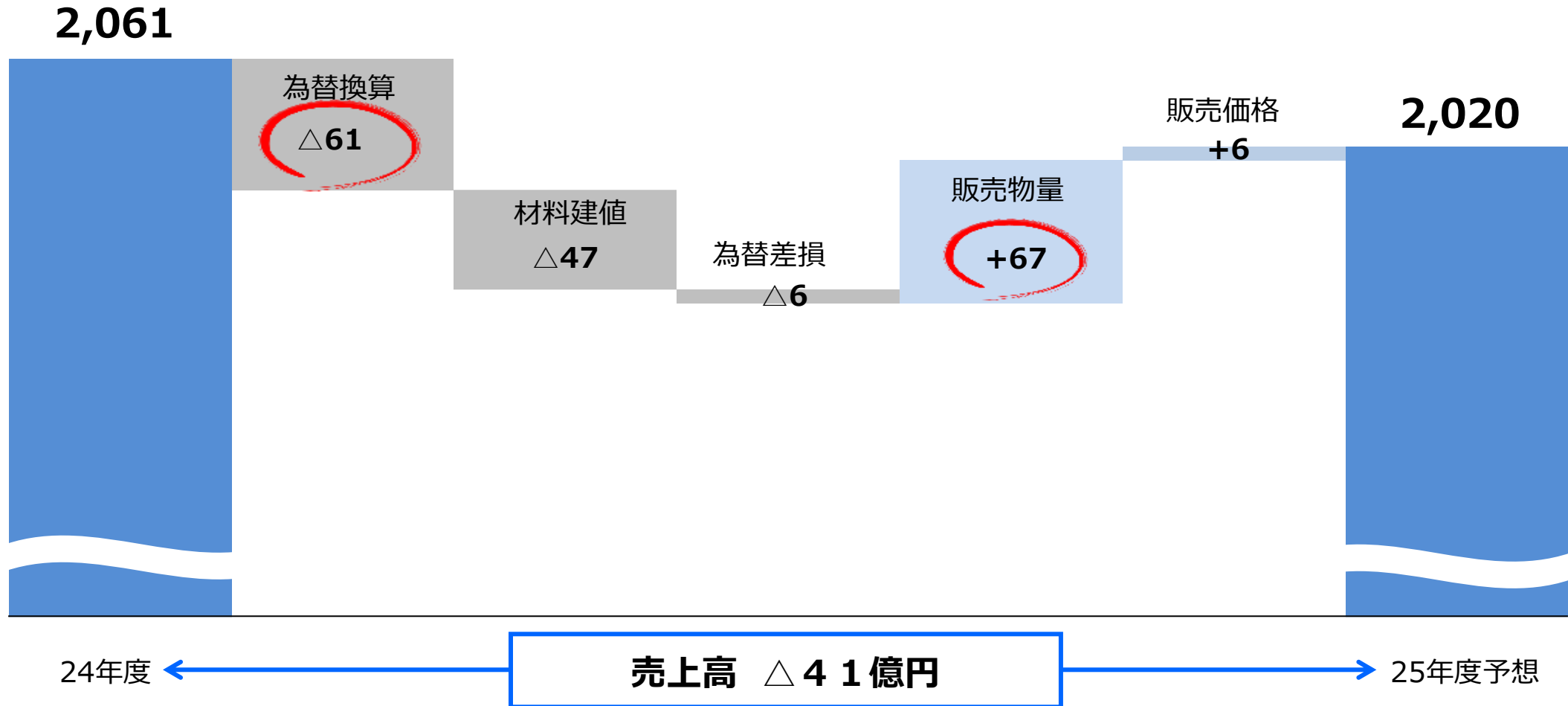
	2024年度		2025年度		前期比			
	2Q累計 実績	通期 実績	2Q累計 予想	通期 予想	2Q累計		通期	
					増減	増減率	増減	増減率
売上高	995	2,061	1,010	<b>2,020</b>	+14	1.4%	△41	△2.0%
営業利益	49	136	70	<b>130</b>	+20	42.8%	△6	△4.9%
営業利益率	4.9%	6.6%	6.9%	<b>6.4%</b>	+2.0P	-	△0.2P	-
経常利益	64	172	80	<b>155</b>	+15	23.6%	△17	△10.3%
経常利益率	6.5%	8.4%	7.9%	<b>7.7%</b>	+1.4P	-	△0.7P	-
※ 当期純利益	53	132	55	<b>110</b>	+1	3.2%	△22	△16.8%
R O E	-	7.9%	-	<b>6.5%</b>	-	-	△1.4P	-
R O A (営業利益ベース)	-	4.7%	-	<b>4.4%</b>	-	-	△0.3P	-
一株当り純資産	-	2,911円	-	<b>3,042円</b>	-	-	+131円	4.5%
平均為替レート (米ドル)	153.9円	152.5円	145.0円	<b>145.0円</b>	△8.9円	-	△7.5円	-

※ 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益です。

# 2-2 通期 連結売上高 増減要因

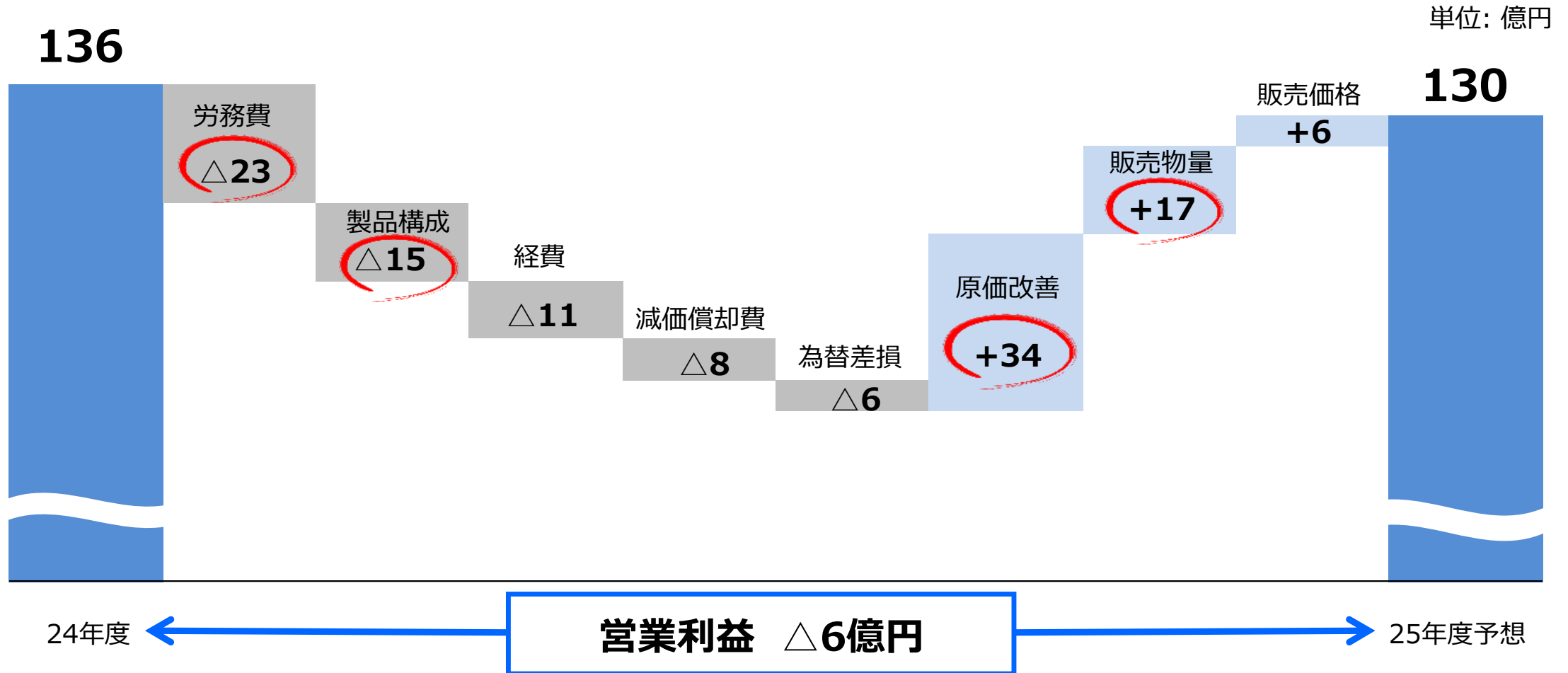
円高影響により売上高は減少

単位: 億円



# 2-3 通期 連結営業利益 増減要因

労務費等コストアップと製品構成差を原価改善、価格転嫁で挽回



## 2-4 通期 連結事業別セグメント

プレス・樹脂は減収増益、バルブは減収減益を見込む

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	2024年度 実績	2025年度 予想	前期比		2024年度 実績	2025年度 予想	前期比	
			増減	増減率			増減	増減率
<b>プレス・樹脂</b>	1,486	1,467	△19	△1.3	81	104	+22	+27.3
営業利益率					5.5%	7.1%	+1.6P	
<b>バルブ</b>	572	550	△22	△3.9	55	27	△28	△51.3
営業利益率					9.7%	4.9%	△4.8P	

## 2-5 通期 連結地域別セグメント

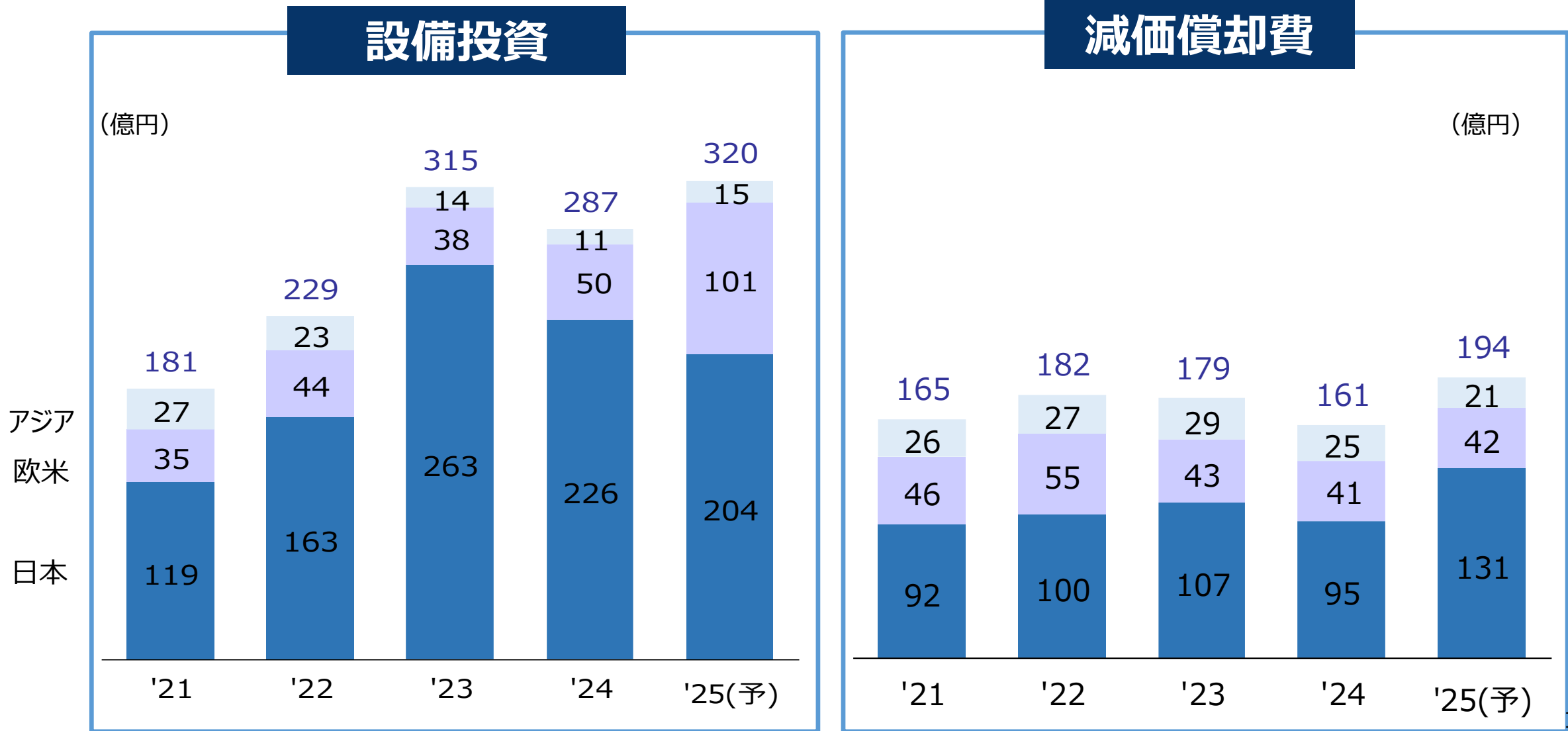
日本は増収、欧米は減収、アジアは減収減益を見込む

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	2024年度	2025年度	前期比		2024年度	2025年度	前期比	
	実績	予想	増減	増減率	実績	予想	増減	増減率
<b>日本</b>	684	765	+80	+11.8	54	54	△0	△1.5
営業利益率					8.0%	7.1%	△0.9P	
<b>欧米</b>	1,000	905	△95	△9.5	51	49	△2	△3.9
営業利益率					5.1%	5.4%	+0.3P	
<b>アジア</b>	376	350	△26	△7.1	26	19	△7	△29.5
営業利益率					7.1%	5.4%	△1.7P	

# 2-6 連結設備投資・減価償却費

技術開発センター、海外生産能力増強等、将来の成長のための投資を実施

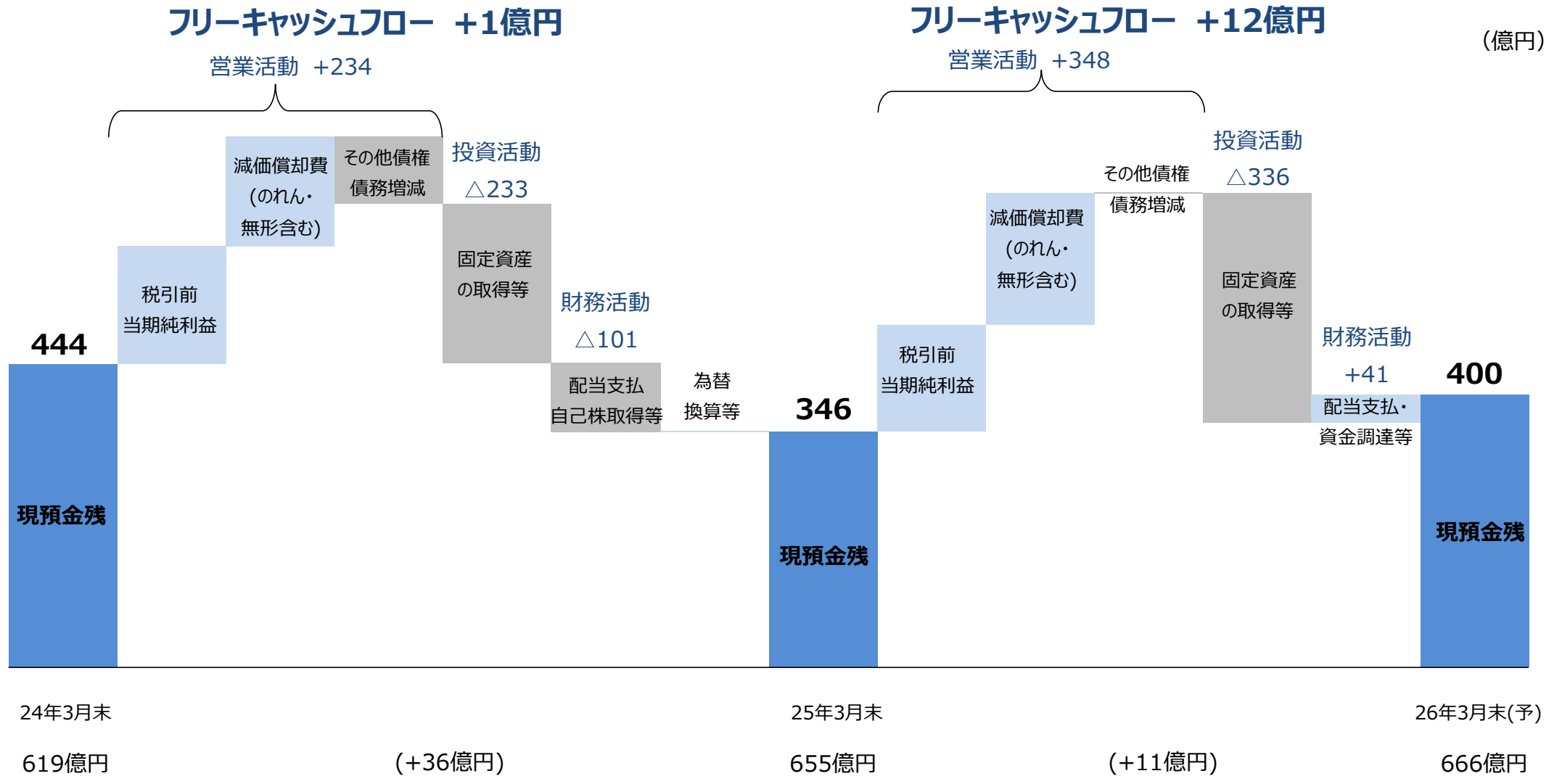




# 2-7 連結キャッシュフロー



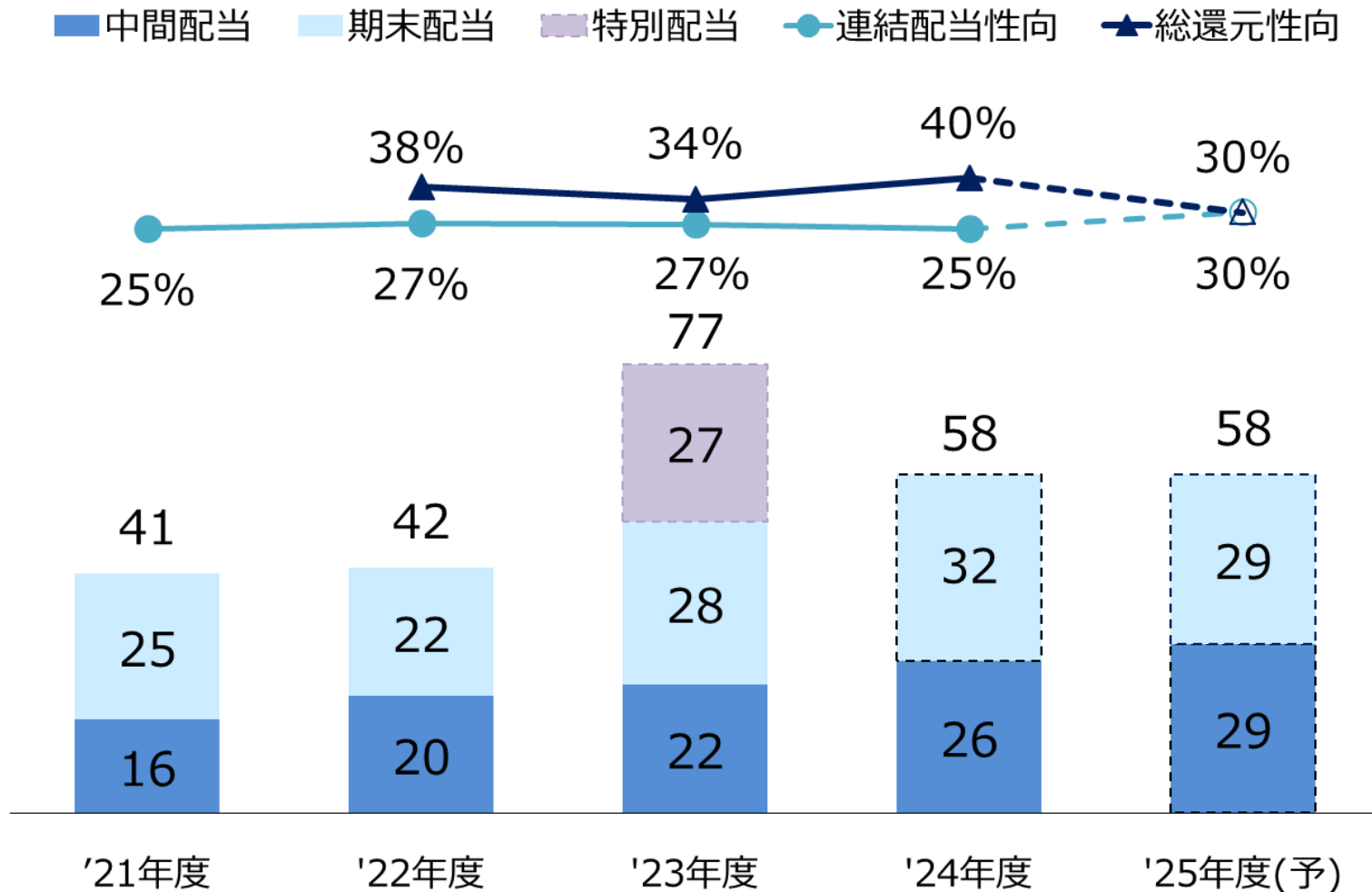
## グループ内キャッシュマネジメント強化で、効率的な資金運用を実施



## 2-8 株主還元

'24年度配当は利益、資金状況等も考慮し、前年普通配当50円より8円増配  
総還元性向は24年度で40%超を実施

<1株当たり配当金・配当性向・総還元性向推移>



1. 2024年度業績
2. 2025年度通期予想
3. **中期経営計画「NEXUS-26」 進捗**

# 3-1 中期経営計画 NEXUS-26 進捗



計画に沿って財務・非財務の取り組みを推進、目標達成に向け順調な進捗

財務価値目標	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2025年度予想	2026年度目標
売上高	1,912億円	2,073億円	2,061億円	2,020億円	2,100億円
営業利益率	4.9%	7.0%	6.6%	6.4%	7%以上
ROE	7.0%	11.2%	7.9%	6.5%	8%以上

非財務価値目標	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2026年度目標
電動車向け売上比率	29.1%	34.1%	43.6%	50%
新規商品・サービス上市件数	1件	7件	6件	15件 (2023年度から累計)
従業員エンゲージメント	-	初回調査実施 肯定的回答率 48.2%	肯定的回答率 55.8%	目標設定 肯定的回答率 60%
CO2排出量 (2019年度比、スコープ1・2、グループ)	18.4%削減	20.3%削減	28.8%削減 (暫定)	30%削減

## 3-2 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

ROE・PERの向上を実現し、PBR1倍以上の達成を目指すため、以下の取組みを継続

### ROE向上施策

#### 収益体質・基盤の強化

- ・継続的な原価改善、固定費削減の推進による収益体質強化
- ・デジタルツール活用による生産・管理業務の効率向上 ⇒ P.26 デジタル戦略
- ・人的資本投資によるパフォーマンスの最大化 ⇒ P.27 人財戦略

#### 投資効率、資本効率の向上

- ・拡販による利益拡大、投資回転率の向上 ⇒ P.22-25 事業戦略
- ・投資判断時には、株主資本コスト7%を基準に投資効率を検証
- ・機動的な自己株式取得の実施等、株主還元の充実 ⇒ P.18 株主還元

### PER向上施策

#### 開示の充実

- ・成長戦略の十分な説明
- ・財務・非財務情報の開示充実

#### 事業リスク低減、機会の拡大

- ・危機管理・BCP・コンプラ
- ・安全・健康・人権・人財確保
- ・新製品・新技術の開発・拡販

#### サステナビリティ経営の推進

⇒ P.28 サステナビリティ

# 3-3 事業別進捗：プレス・樹脂事業

開発・拡販・受注は計画通りに進捗、生産体制の構築を推進

## プレス成長戦略：脱炭素時代に向けた電動化部品の開発・拡販 主要顧客との信頼関係強化による受注拡大

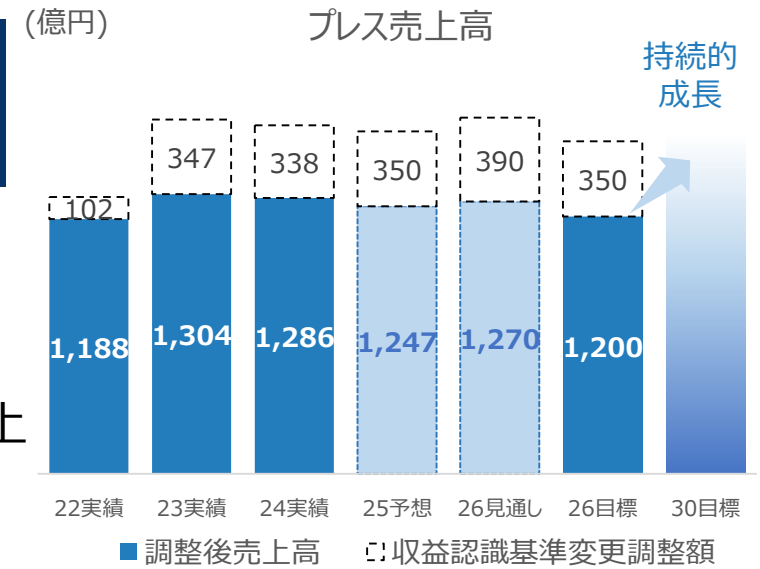
**プレス売上目標**

2022年度 1,290億円  
2026年度 1,550億円  
CAGR 4.7%

**24年度の成果** | BEVバッテリー関連部品受注、新工場売上拡大

### 重点取組み

超ハイテン技術を活かしたBEV向け新製品開発  
既存ボデーシェル部品拡販による台当たり単価向上  
新工場効果による採算性向上と、生産能力増強  
受注増加に応え、日・米で生産能力を増強



## 樹脂成長戦略：BEV向け新製品開発の促進、新規顧客拡販

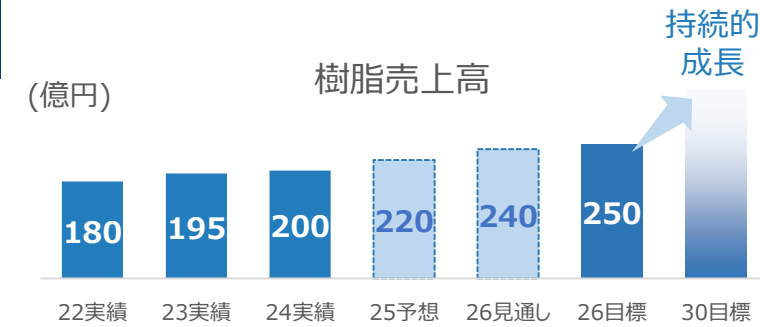
**樹脂売上目標**

2022年度 180億円  
2026年度 250億円  
CAGR 8.6%

**24年度の成果** | インド新規顧客向け BEV用加飾部品を受注

### 重点取組み

メガTier1、グローバル新規顧客拡販の継続  
BEV動向を見極め、需要に合った生産能力増強



# 3-4 事業別進捗：プレス・樹脂事業

顧客との信頼関係強化が実を結び、トヨタ自動車 **原価改善優秀賞** 受賞、各地で表彰



## 北米



### 生産基盤強化・面倒見活動

- ・現地調達推進、原価低減に貢献
- ・人財の定着率向上、省人

## 海外サポートチームでの改善

海外拠点ごとに日本のサポートチーム結成  
課題の早期解決やノウハウ横展開

## タイ



### 原価改善提案

- ・2部品一体化の仕様を横展
- ・タイ初採用の技術で原価低減



## 台湾



### 品質向上・品質基準適正化

- ・日本の改善事例を横展
- ・廃却率減少、原価改善



## トヨタ自動車 **環境推進優良賞** 受賞

- ・ CO2排出量低減活動
- ・ 新商品エネグラフを活用した現場の省エネ活動
- ・ 中小企業の環境データ取得を安価かつ簡単に





# 3-5 事業別進捗：バルブ事業

## グローバル連携で開発・拡販を推進

**成長戦略：電動車向け製品開発と拡販  
既存製品の新規顧客開拓と収益基盤強化**

### バルブ売上目標

2022年度 542億円  
2026年度 630億円  
CAGR 3.8%

### 24年度の成果

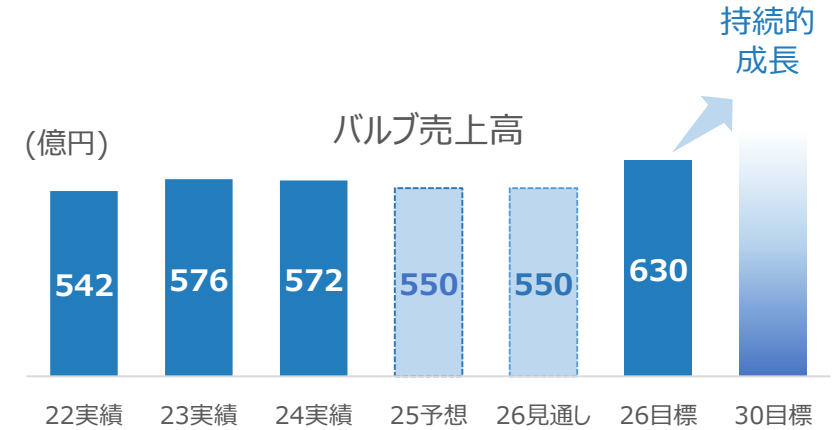
BEV用バルブ開発、25年度販売開始

### 重点取組み

熱マネバルブをメガTier1拡販

生産体制構築、需要を見極めながら投資推進

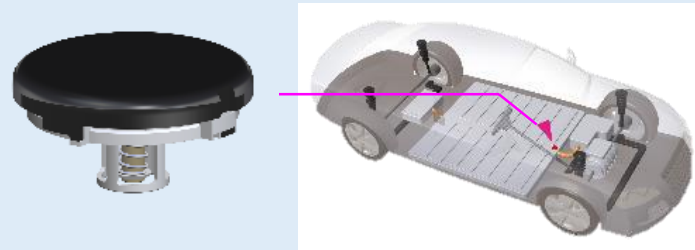
TPMS新規顧客拡販による売上確保と収益維持



### 新工場完成

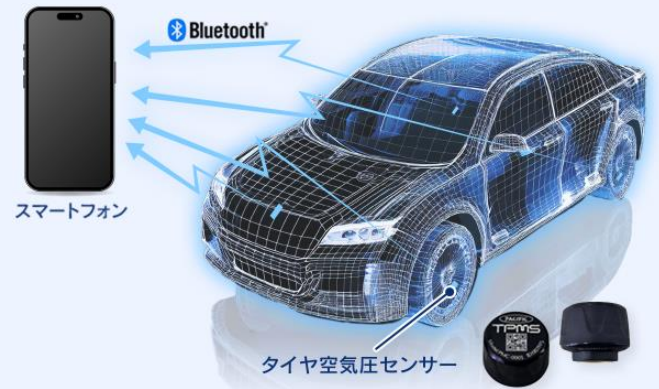


### BEVバッテリー用リリーフバルブ



リリーフバルブのノウハウを活かし、OEMへ開発・提案を推進、25年度より供給開始

### 4/18 キャップ式TPMS販売開始



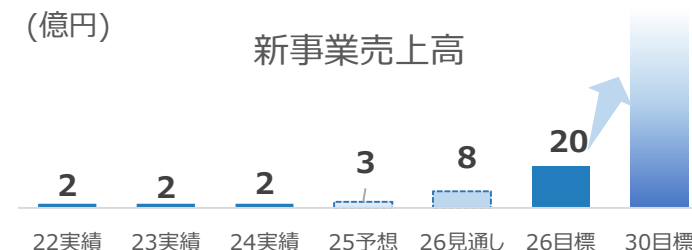
エントリーモデルとしてアフターマーケット向け販売



# 3-6 事業別進捗：新事業

新しい事業の柱をつくるための挑戦を継続

成長戦略：社会課題解決に貢献するIoT製品、システムを開発



新規商品・サービス上市件数目標

2026年度 15件  
2030年度 35件

24年度の成果

新製品 6 件 リリース、製品に適した販売経路、サービス展開を実施

重点取組み

Webマーケティングなど、製品特性に合わせた効果的な拡販活動  
自社リソースによる開発と、オープンイノベーション活用による新商品上市を継続

24年度リリースの新製品

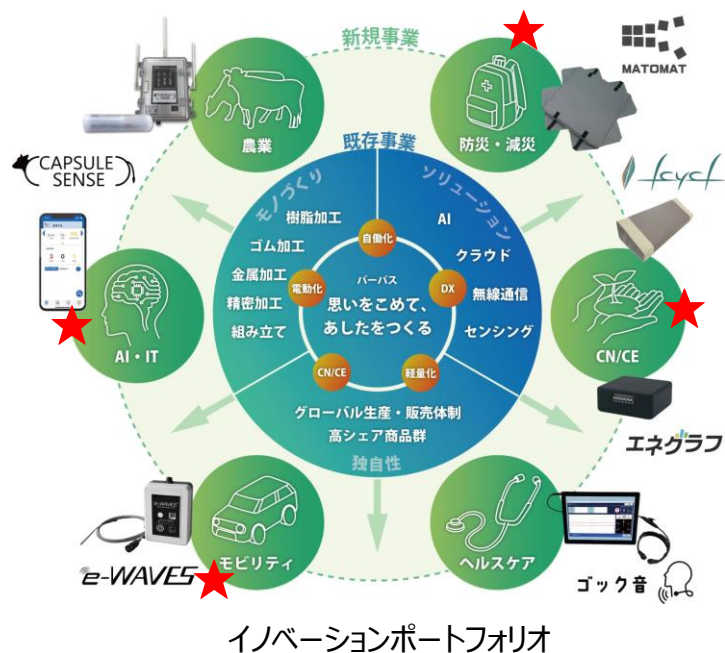
時期	商品・サービス	領域
24/4	エネグラフ	CN：カーボンニュートラル IT：ソリューション
24/5	MATOMAT	防災 CE：サーキュラーエコノミー
24/8	Lcycle:フットレスト	CE：サーキュラーエコノミー
24/10	直Q楽R:実績収集	DX・IT
25/1	e-WAVES:BLE スマホアプリタイプ	センシング 無線通信
25/1	e-WAVES:LTE2 輸送単位管理	センシング 無線通信

## 防災マット MATOMAT

日常 → 災害時

・商品コンセプトや社会課題への貢献度が各方面より高く評価

モノづくり 部品大賞



# 3-7 デジタル戦略の進捗

## DX・デジタル化、人財育成、サイバーセキュリティの3本柱で競争力を高める

### 2030年のめざす姿 スマートファクトリーの実現

IoTやAIなどのデジタル技術やデータを活用、あらゆる生産工程を見える化し、生産全体のプロセスが最適化されている

#### 重点取組み

DX・デジタル化による製造・物流効率化を改善推進  
階層別DX人財教育による高度デジタル人財の育成、適材適所化  
全従業員のデジタルリテラシー底上げによる利活用促進・業務効率改善

### スマートファクトリー、工場IoTアイテムの国内・海外展開

#### 新工場導入済、今後国内外拠点へ展開

##### デジタルアンドン



ラインの稼働状況、異常内容を見える化問題を直ちに復旧

##### 集中稼働モニター



ライン別の状況、可動率を見える化優秀者にはメダルを表示



自社開発システムを各拠点へ順次展開  
グローバルで改善を推進

#### 海外拠点へ展開推進中

##### デジタル作業標準



出荷前抜き取り検査でかんばん読み取り、確認項目を表示

##### 誤品照合システム



出荷かんばんと工程内かんばんを読み込み、一致を判別、誤品出荷を防止

# 3-8 人財戦略の進捗

4つの重点施策を推進し、従業員エンゲージメント(単体)が前回より7.5ポイント改善。

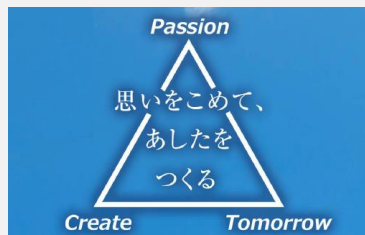
2030年のめざす姿 **すべての働く人が「思い」をもち活躍できる**

## 4つの重点施策

### 1 経営ビジョンへの共感

#### 主な取り組み

- ・対話機会の増加  
(ビジョンを語る会、安全面の横展開等)
- ・現場の困りごと改善



### 2 上司・同僚との関係性

#### 主な取り組み

- ・心理的安全性のある職場づくり  
(人間力・ハラスメント教育や心理的安全性教育等)



### 3 成長・学びの実感

#### 主な取り組み

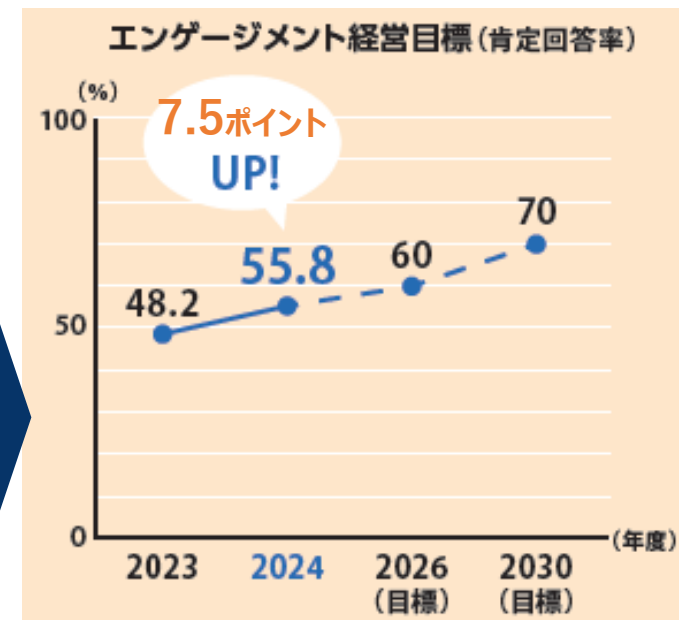
- ・Web教育の充実
- ・AIツールの導入
- ・事業創出プロジェクト



### 4 仕事のやりがい

#### 主な取り組み

- ・働きやすさの改善  
(就業時間等)
- ・処遇や報酬の改善
- ・職場環境(空調・照明等)の改善



特に改善が大きかった項目

1. 成長機会 (挑戦・学習)
2. 事業戦略 (満足度)
3. 働き方 (設備・環境)

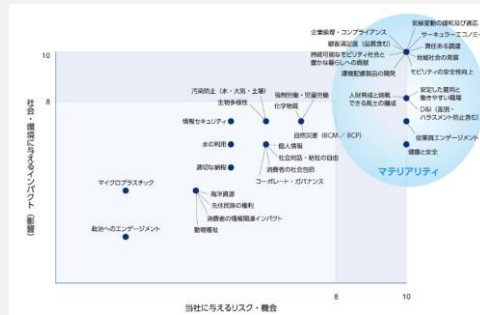


# 3-9 サステナビリティ

## 企業価値向上に向け、サステナビリティ・リスク低減の取り組みと、情報開示の充実を推進

### マテリアリティの改定

- 環境変化や各地域基準動向を踏まえ、ダブルマテリアリティ視点で再評価
- 自然保全や、従業員エンゲージメントを新規追加



### 「プラチナくるみんプラス」初認定

- 子育てサポートに加え、不妊治療と仕事の両立の取り組みが評価
- 岐阜県で初となる評価取得
- 健康優良法人も連続認定中



### CDP気候変動 Aリストに初選定

- 気候変動評価で、4年連続A-から、初めてAリスト選定
- 九州第1工場で、太陽光発電を増強し、25年1月から稼働



### 行動ガイドライン・仕入先サステナビリティガイドライン見直し

- 人権・環境関連の記載具体化
- 国内外の従業員、仕入先様に対し周知と自己評価実施





思いをこめて、あしたをつくる

Passion in Creating Tomorrow